

加子母暮らしスタートブック

むらづくりは ひとづくり



約900世帯
2200人

受継いでいく
山村文化

KA SHI MO
加子母
中津川市

岐阜県

高山

下呂温泉

中津川インター

名古屋

中津川市 **か し も** 加子母

加子母
ミネラルトマト



お問い合わせ

加子母
空き家対策委員会

0573-79-2111
中津川市加子母総合事務所内

飛騨牛





加子母MAP



[地域情報]

岐阜県の東部、中津川市の最北部に位置し、美濃と飛騨を結ぶ地域。総面積114.16km²の94%を山林が占め、地域全体が中山間地域となっている。

[公共施設]

- ① 加子母B&G海洋センター
舞台峠ドーム
- ② 加子母小学校
加子母ふるさと総合体育広場
- ③ 加子母中学校
- ④ 加子母こども園
- ⑤ 加子母ふれあい
コミュニティーセンター
子育て支援センターくるりんぱ
- ⑥ 加子母総合事務所
公民館・図書室
- ⑦ 老人福祉センター 白寿荘
- ⑧ 加子母ふるさと体育広場
弓道場
- ⑨ 福崎公園
- ⑩ 道の駅 かしも ゆうらく館
- ⑪ ふれあいのやかた かしも
- ⑫ かしも明治座

[警察・消防機関]

- ① 中津川警察署 加子母駐在所
- ② 中津川市消防本部
北消防署 加子母分署

[医療機関]

- ① 中津川市国保 加子母歯科診療所
- ② 河村医院 (内科・小児科)
- ③ ハロー薬局加子母店

[近隣総合病院]

- 下呂温泉病院(☎20分)
- 中津川市民病院(☎50分)
- 中部国際医療センター(☎70分)



かしも 加子母ってどんな場所？



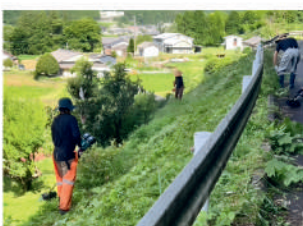
加子母では地域の自然を生かし、東濃ひのきによる林業、高冷地の気候を生かした夏秋トマトの栽培、さらに飛騨牛を育てる畜産業など、地場産業が盛んに行われています。また、加子母明治座を中心とした地歌舞伎や神社等につわるお祭りなどの文化も数多く残っています。峠に囲まれた人口約2200人の小さな集落ですが、生活の基盤となる施設や飲食店などが揃っており、人口減少が進む中でも住民が協力しながら伝統産業や地域文化を守り続けています。

自治会 地域コミュニティについて



加子母は10区あります。各区はさらに7から13の班に分かれ、各班は10から20世帯ほどの集まりで班が加子母の自治会での最小単位です。区長、班長などの役割を住民が交代で担いながら地域をみんなで支えています。

常会（自治会ごとで集まり、地域のことを決めたり連絡を取り合う集会のこと）の有無や、区費・班費の金額はそれぞれ定められています。各役員は2月から3月に住民が集まって決めます。自治会活動は加子母全体で行うものと各区・各班で行うものがあります。



草刈り
年に3,4回ほど

地域情報誌
「月刊 どさない」
の配布も！



広報誌の配布
各戸に配る班や常会を開く班など

子供達が巫女や
獅子舞を経験
できる区も！



各区のイベント
みんなで行事を楽しみます

加子母むらづくり協議会

加子母むらづくり協議会

自分たちで地域づくりする 組織



【設立の経緯】

加子母は2005年平成の大合併で中津川市加子母となり、村議会の廃止に伴い、地域審議会を設置し、地元の声を吸い上げてきました。2013年地域審議会廃止に伴い、自分たちで地域課題を解決できる組織づくりのために加子母むらづくり協議会を発足しました。加子母むらづくり協議会は会長等役員と各区長、10の分科会及び各部会で構成されています。10の分科会は林業、農業、商工業、文化、教育等それぞれの専門分野の住民が定例会議を開いて、地域課題を解決しています。



NPO法人かしもむら

2013年より加子母むらづくり協議会で地域の課題解決に取り組んでいますが、続けていくには財源がありません。そこで2015年にNPO法人かしもむらを設立しました。NPO法人かしもむらは加子母むらづくり協議会の方針に沿って地域のための諸事業を行う法人です。

「自主自立の地域づくり」を目標に、加子母の人みんなが参加して住み良いむらづくりを行い、むらづくり協議会の財政基盤を作って活動の財源を確保し、社会的に信用のある組織にすることを目的としています。

人・自然
文化・産業で
守り続ける

加子母を離れた人も
会員として
応援できる

住民の声を
むらづくりに
直接つなげる



住民と行政の
橋渡し役

域学連携で
新しい風を
吹き込む

災害時も
助け合える
仕組み

自主自立の 地域づくり

広報システム
『広報かしも』



かしもチャンネル



○地域放送普及事業として加子母独自の災害無線システムを構築し「広報かしも」を運営しています。2025年4月からは加子母の地域アプリ「かしもチャンネル」の運用も始まりました。

かしも明治座

明治27年（1894年）に村人によって建てられた芝居小屋で、岐阜県指定の有形民俗文化財に指定されています。建設から130年以上経った今も加子母住民によって活用され続けています。

開館時間：10時～16時

休館日：月曜休館（月曜日が祝日の場合は翌日）

年未年始（12月29日～1月3日）

入館料無料 駐車場あり



…クラシックコンサート(毎年春頃) ……………

「生のクラシック音楽に触れる機会が少ない山村の子供達にデジタル音ではない本当の楽器の音を感じさせたい。」という東京芸術大学名誉教授の故・田中千香士氏の熱意によって平成10年より続く、かしも明治座で行われるクラシックコンサートです。



…地歌舞伎公演(毎年10月頃)……………

地域住民が役者や裏方を務める伝統的な地歌舞伎を加子母明治座で行っています。

ふれあいのやかた かしも

木をふんだんに使った大型の研修・交流施設で地域住民の交流拠点にもなっています。

施設：多目的空間、和室3室、洋室1室、ひのき風呂、トイレ、食堂、調理場



加子母全体が建築大学生の学びフィールド

もく しょう じゅく 木匠塾

加子母木匠塾は、1995年に開校した大学横断型の木造建築実習です。令和7年度は8大学から298名の学生が夏に加子母へ滞在し、加子母の工務店や林業者の協力のもと、木取り・墨付け・刻み・建て方までの工程を自らの手で行いました。30年にわたり継続してきたこの活動により、加子母地域内には学生たちが手がけた小規模な木造建築が点在しています。

加子母全体が学びのフィールドであり、林業体験に取り組むほかにも郷土料理の手ほどきを受けたり、加子母の子どもたちと交流・学習活動を行ったりする機会もあります。さらに、夏祭りや軽トラ朝市などの地域行事にも大学生が積極的に参加し、地域に活気をもたらしています。





イベント・お祭り

加子母の夏祭り(毎年8月お盆期間中)

加子母の夏祭りは地区内外の人や加子母の域学連携で関わる学生などで盛り上がり、加子母の人口が1年で1番多くなるお祭りです。

商工会青年部が中心となって行われ、加子母ならではの夜店をはじめ、ステージ演目や抽選会、打ち上げ花火などが行われます。



なめくじ祭り(毎年旧暦7月9日の夜)

毎年、旧暦7月9日(九万九千日)の深夜、いずこからともなくはい出た「なめくじ」が、文覚上人の墓石に群がり、やがて夜明とともに消え去る。この「なめくじ」は黒い刀偏様の斑点を持ち、いつからともなく村人の信仰の的となり、以来、この日にお参りすれば九万九千日お参りしたのと同じご利益があるとのことで、今では毎年村内外からこの奇祭を見てお参りする人も多いです。なめくじにちなんだ豪華賞品が当たる「なめくじ」が行われ、夜店やステージなどで賑わいます。

水無神社例大祭(毎年9月23日頃)

「けんか祭り」とも呼ばれ、厄年の男性たちによる軸曳き(やまひき)が見どころのひとつで、2台の伝統的な「軸(やま)」を年男や参加者が引き、激しくもみ合いながら約80メートルの急坂を上る様子や、からくり人形、餅投げが特徴です。前日には獅子舞が奉納されます。

この祭りは単なる伝統行事にとどまらず、地域の人々が世代を超えてつながる大切な機会です。厄年の男性が軸を力強く曳く姿には、集落のきずなと活気が凝縮されています。移住者の人も、地域の人と顔なじみになれる絶好のタイミングです。祭りの準備や片付けに関わることで、自然とコミュニティに溶け込むことができます。



加子母の行事に、ぜひ顔を出してみよう

地域の行事に参加すると、地元ならではの情報が自然と集まり、顔なじみもどんどん増えていきます。「参加してみたい」という気持ちがあれば、加子母の人たちは必ず温かく迎えてくれます。人とのつながりができると、困ったときに頼れる存在ができ、毎日の暮らしがぐっと安心なものになっていきます。まず一歩、踏み出してみましよう。



左義長(毎年1月4日頃)

正月飾りや古札を焚き上げる伝統的な火祭りです。無病息災や五穀豊穡を願います。燃やした火で焼いた餅を食べると病気にかからないと言われ、加子母では小中PTAが中心となって左義長を各區ごとに行います。



鬼めぐり(毎年2月3日頃)

鬼めぐりは加子母と一部周辺地域だけに残る、節分の伝統行事です。和紙などに鬼の絵、その下に点を13個書き(うるう年は12個)その下に一筆書きの星を描きます。その紙を家の入り口や戸袋に貼ると、夕方に子供達が各家を回って剥がします。





主要機関



加子母総合事務所

開庁時間：8時30分～17時15分
閉庁日：土・日・祝日・年末年始



加子母公民館・図書室

利用時間：9時～22時
休館日：12月27日から1月5日
施設：ホール、2階会議室A、3階大会議室、
3階小会議室、図書室

中津川市加子母3519番地2
TEL :0573-79-2111
FAX:0573-79-2700

公民館講座を
開催しています！



加子母むらづくり協議会事務局 NPO法人かしもむら事務局

加子母公民館2階
TEL :0573-79-3669
FAX:0573-64-8020



市営住宅

市が維持管理し、住宅に困窮する低額所得世帯へ低廉な家賃で提供する賃貸住宅です。所得制限や住民税滞納がないことなど入居要件があります。毎月定期募集が行われ、抽選で入居者が決定します。詳しくはQRコードから中津川市HPをご覧ください。



中津川市消防団 加子母分団

消防団は、消防職員とは異なり他に仕事を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき地域住民の生命、身体、財産を守るために活躍しています。自主防災組織と連携し消防訓練を行い、災害が発生した場合には、消防職員と一体となって迅速に消火や救助活動を行っています。

移住してきて
消防団を通して同世代
の仲間ができました



操法大会は5月
団員で協力し取り組み
もしもの際に備えます





教育機関

給食も
美味しいよ！

加子母こども園 全園児約30名

『こころ豊かなかしもっこ』

1歳児～5歳児の受け入れをしています。地域との交流を大切にしており、自然に囲まれた環境の中で、温かい保育を行っています。



加子母小学校 全校約70人

教育目標 『めあてをもってやりぬく子』

半円形をした二階建て木造校舎、広い校庭が特徴的です。学校の様子は中津川市HPにて公開しています。人数が少ない分、多学年で協力して活動しています。



加子母中学校 全校約40人

教育目標 『めあてをもち厳しく追求する生徒』

全校生徒の人数は少ないため、授業では、一人ひとりと向き合った指導を行い、少人数ならではの落ち着いた学習環境です。生徒の自主性を尊重し1人1人が活躍できます。



むらづくりは、人づくり 教育協議会の取り組み

2005年の市町村合併で教育委員会が統合されたことにより、地域の人によって「加子母教育協議会」を発足させました。「加子母の子ども達を地域ぐるみで育てよう」をテーマに地域と保育園、小学校、中学校をつなぐ学校支援活動に取り組んでいます。さらに、合併前より続いていた「教育の日」を継続して開催しています。

【加子母 教育の日】 地域の人がつくる参加授業

この授業参観は小学生から中学生まで、各学年ごとのテーマで地域の方が講師となり、加子母のよいところや課題を保護者も交えて学びながら、子どもたちに加子母のことを好きになってほしいと願い、地域ぐるみで子どもたちを育てていく目的で行われています。

人材や文化を活かし地域の大人を招いて行う教育の日は、子どもたちがふるさと加子母の素晴らしさを学ぶ機会となり、将来地域を背負う人材育成に繋がると期待されています。子供たちと地域の人たちと繋がりが出来る事で、地域で気軽に声かけができ、子ども達の安全安心な環境づくりにも繋がっています。「地域の人がつくる参加授業」では、先生役の地域の高齢者も大変に張り切っており、子どもだけではなく大人にも参加して欲しい面白い参加型授業参観です。

子育て支援センター



くるりんぱ (加子母ふれあいコミュニティセンター内)

くるりんぱでは、未就園児がいる親子を対象に加子母で週に3日・付知で週に1日、自由に遊べるスペースを開放しています。毎月、楽しいイベントや年齢別ひろばなど計画しています。

開放時間：9時30分～14時45分

場所：加子母ふれあいコミュニティセンター内



ふれあいコミュニティセンター

中津川市社会福祉協議会 加子母支所

(加子母ふれあいコミュニティセンター内)

「誰もが住み続けたいと思える地域の実現」をめざし、地域のみなさまやボランティア、企業団体、福祉、保健などの関係者、行政機関の協力を得ながら共に考え、実行していく地域福祉推進のための民間の社会福祉団体です。



軽トラ朝市 (6月～11月第3日曜 12月第2日曜)

観光客と地域住民の交流や高齢者の生きがいを目的に10年以上続いています。午前9時から12時まで農作物や手芸品、木工品、キッチンカーなどのお店が出店します。



人口
2200人

加子母の暮らしを支えるお店

金融機関(3軒) ❀ 郵便局(2軒) ❀ ATM(6台) ❀ コンビニ ❀ 商店(2件)
ガソリンスタンド(3軒) ❀ 道の駅 ❀ 農産物直売所 ❀ 100円ショップ
ドラッグストア(2026年6月開業) ❀ 工具店
コインランドリー ❀ 農業資材店 ❀
酒屋(2軒) ❀ 木材品店 ❀ 和菓子屋

暮らしに関することは加子母内でほとんどのことを解決することができます!

小さい地域なのに、お店はたくさんあって不便だと思うことはありませんね。



など

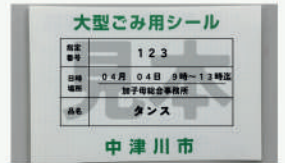
上記以外にも飲食店や観光スポットがたくさんあります



加子母マップ

ごみ処理

| 種類 | 収集日・時間 | 場所・袋・対象品目 |
|------------------------|--|---|
| 燃えるごみ | 月曜日・木曜日 朝8時半まで | 緑色の袋で「燃えるごみ専用」と表記されている指定袋に入れて、朝8時半までに指定された場所に出してください。 |
| 燃えないごみ 資源ごみ 硬質ごみ | 第3日曜日 4月～9月 17時～18時 10月～3月 16時～17時 | 収集場所：各区の収集場所 燃えないごみ 「燃えないごみ専用」と表記されている指定袋に入れて、各区の指定場所に持ち込んでください。各区の担当者が収集時間に見守りをを行います。 資源ごみ 《回収対象》アルミ缶・スチール缶・瓶・ペットボトル 硬質ごみ 《回収対象》電線・導線・鉄塊類・銅板類・パイプ類 など |
| 有害ごみ | 毎月第2日曜日 9時～13時 | 収集場所：加子母総合事務所東側車庫 有害ごみ《回収対象》スプレー缶・カセットボンベ・電池類・ガスライター・蛍光灯・水銀体温計 |
| 大型ごみ (事前申込み必須) | 毎月第2日曜日 9時～13時 | 収集場所：加子母総合事務所東側車庫 事前に総合事務所でシール(大型ゴミ1つで500円)を発行し、当日貼り付けて持ち込んでください。 |



中津川環境センターに直接搬入の場合：

大型ごみ：10キロごと100円(要事前電話予約)
 持込時間：月曜～金曜 8時45分～16時30分(祝日、年末年始を除く)
 第2・第4日曜日 8時45分～12時、13時～16時30分
 中津川市駒場2261-6 ☎ 0573-62-0085

中津川市のゴミ捨てについては
QRコードから>>



資源回収ボックス



常時開設

アルミ缶回収ボックス

場所：アトラ広場(旧アトラ軒下)

《回収対象》
アルミ缶



☆収益は加子母こども園、加子母小中PTAで活用されます。

こどもリサイクルボックス

場所：加子母小学校下(旧教員アパート駐車場跡地)

《回収対象》
アルミ缶 新聞紙
スチール缶 雑誌
ペットボトル 段ボール



☆収益は加子母こども園、加子母小中PTAで活用されます。

加子母こども園リサイクルボックス

場所：加子母こども園駐車場

《回収対象》
アルミ缶 新聞紙
段ボール 雑誌



☆収益は加子母こども園、加子母小中PTAで活用されます。

総合事務所駐車場 リサイクルボックス

場所：加子母総合事務所 駐車場東側

《回収対象》
段ボール 新聞紙
雑がみ 雑誌
牛乳パック 発泡スチロール



☆収益は加子母むらづくり協議会で活用されます。

加子母の暮らしについて



自然豊かで、小さい時期をその自然に囲まれながら育つのはよいと思う。

住民の方々がとても親切に接してくれる



どこへ行ってもみんな可愛がってくれ、地域のみんなに育ててもらってるなぁと実感します。

地域の方々がまるで親戚のようにこども達の事を気にかけてくれます。

住民の声



縦のつながりは良い。複数学年集団



都会で過ごしていた時は周りに人は沢山いても孤独感があったが、加子母で子育てしていると孤独な感じは無くなりました。

緊急時に声を掛ければ近所で助け合えるので安心。

村の歴史に誇りが持てる

顔馴染みが沢山いるので情報共有しやすい。子供達も加子母の子供は皆んな知っている！って感じで良いと思う。



都会のような騒音がなく、慌ただしさが無いのがいい。



多少の不便さを残しながら、楽しむ所、自分の時間を取れる環境がいい。

地域づくりプラスが行なった子育て世代アンケート・シニア世代アンケートより

みんなで作る～加子母の美しい景観～

「環境デー」加子母の花づくり（6月初旬日曜日）

みんなで協力して地域環境を守ります！

中学生が育てたベゴニアの花苗を地域住民総出で、加子母地域を通る国道257号線沿い全域約10kmに移植する活動をしています。

きっかけは加子母の中学生が国道沿いのゴミ拾い美化運動の一環で、地域の一部有志が行っていた花植え活動に関わったことで、昭和59年に花づくり会議が組織され、中学生たちと協力して花づくりを全住民参加の地域活動となりました。

「花づくり」当日には、加子母地域の大人から子どもまでが集まり一斉に花を植え、併せて周辺の美化作業（草刈り、ゴミ収集など）を実施しています。



空き家対策委員会

空き家対策委員会は加子母むらづくり協議会の1つの組織です。約10年前に有志で設立され、活動する中で約30件の空き家の契約をお手伝いしてきました。

空き家対策委員は、加子母の未来を築くため、空き家を増やさない事や、地域の活性化、人口の増加、子育てしやすい環境づくりのためにボランティアで活動しています。

加子母地区では地域の住民が協力して生活しています。地域の行事や草刈りなどの地域を守る活動や防災訓練などの活動をご理解いただき、気持ちよく暮らしていただくために地域の仕組みをご説明します。

また、家にはそれぞれの歴史があります。家主の思いに寄り添いながら、移住者のこれからを一緒に考えてサポートします。

双方の条件のマッチングだけではなく、地域での今後の暮らし方を相談しながら話を進めるように心がけて活動しています。



詳細な聞き取り、面談などを通して会話をすることでそれぞれが納得し、契約が完了するように進めます。



加子母のこと
空き家のこと
移住のことについてご相談ください！

問い合わせフォーム



加子母暮らし スタートブック

地域の詳しい情報を常に更新しています。
詳しくはQRコードを読み取ってください。



発行：加子母むらづくり協議会 空き家対策委員会

中津川市加子母3519番地2 加子母総合事務所内
TEL:0573-79-2111 FAX:0573-79-2700